



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社動力
 (コード番号 1432 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代 表 取 締 役 鈴木竜宏
 問合せ先 取締役管理部長 藤本 進
 T E L 0566-91-3880
 U R L <http://www.doryoku.co.jp>

通期業績予想の修正及び営業外収益(保険解約益)の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 11 月 30 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、営業外収益(保険解約益)を計上する見込みとなりましたので併せてお知らせ致します。

1. 平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,690	△95	△93	△94	△45.50 円
今回修正予想 (B)	2,613	△76	△49	△52	△25.27 円
増減額 (B - A)	△77	19	44	42	—
増減率 (%)	-2.8	-	-	-	—
(ご参考) 前期通 期実績 (平成 28 年 3 月期)	932	△9	△25	△21	△10.49

【修正の理由】

太陽光発電システム市場は引き続き市況低迷が続く中で、売上高につきましては、平成28年4月に4社合併したことにより、太陽光市場の住宅用、産業用への環境商材販売、施工事業及び架台販売事業が全国的に広がり、日本製の産業用（高圧）の太陽光モジュール販売、並びに海外製の産業用（低圧）、及び住宅用のモジュール仕様の材工販売が下期に伸び、ほぼ前回の見通し通りの売上高になりました。

利益面では、太陽光発電の買取価格が、年々の引き下げが国策として実施されることで、市場の縮小が加速し、同業他社との競争が更に激化し、利益率が低下していますが、下期に自社架台のD-earthの販売を始め、海外製モジュール仕様の材工販売も増加する中で、利益額が増え、かつ労務費を含めた販売費及び一般管理費の削減したことで、営業損失が前回の見通しより19百万円減少しました。経常損失については、下期に生命保険の解約などにより、前回の見通しから44百万円減少しました。

2. 平成29年3月期 営業外収益(保険解約益)の計上

当社で加入している生命保険について見直しを行った結果、生命保険解約益として平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）において18百万円を営業外収益として計上する見込みです。

以上